

令和6年度 能登半島地震復興支援セミナー 第3回 アンケート

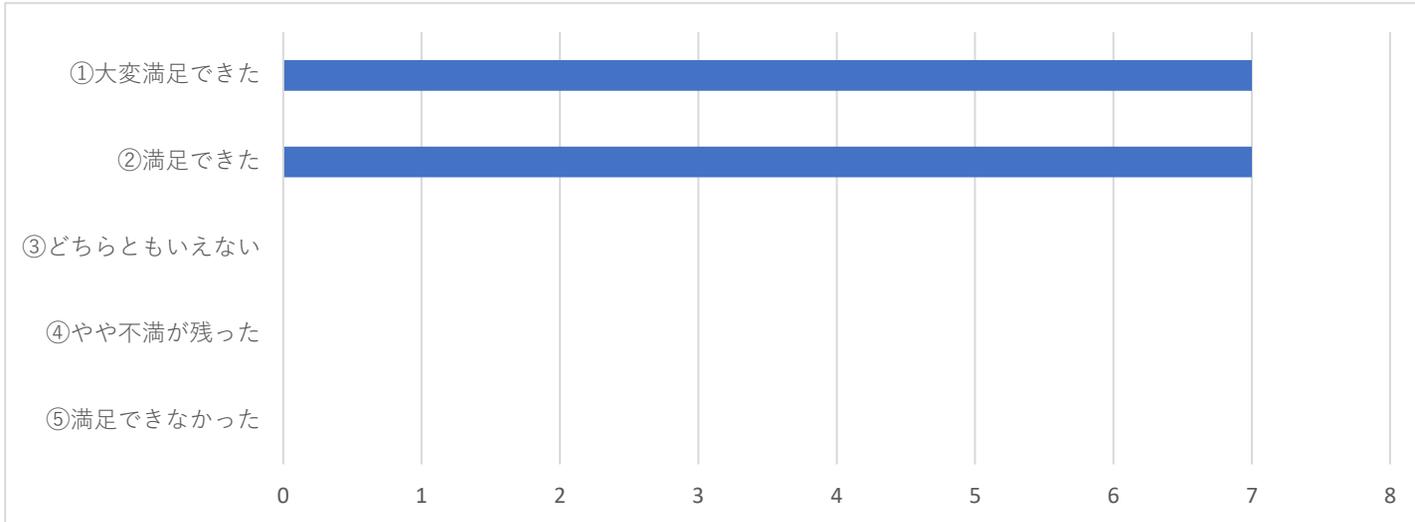
【日時】 令和6年6月12日(水) 13時00分～14時00分

【開催】 オンデマンド

【タイトル】 災害時の子ども支援を学ぶ

【講師】 山田 心健 先生 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部プログラムマネージャー

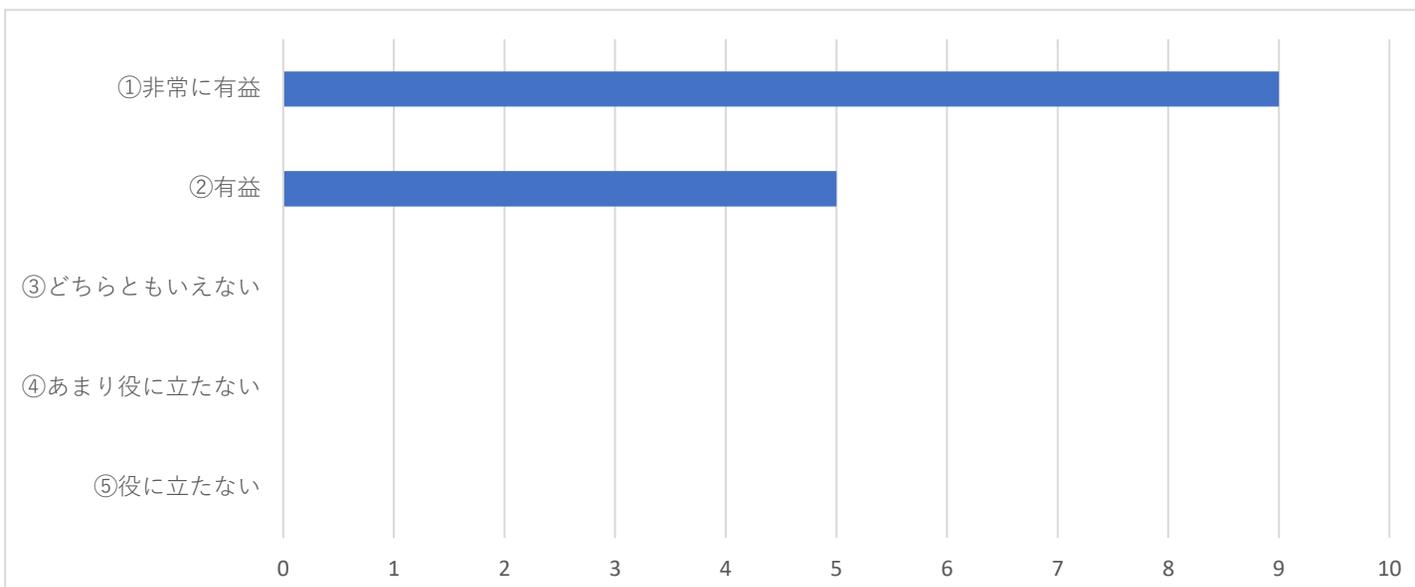
1. 講演はいかがでしたか。



2. 設問1の回答について、よろしければ、その理由を具体的にお書きください。

- ・ 子供の支援の専門機関としての知見をわかりやすく聴講者に伝えてくださったから。改めて納得することばかりの内容だったと思います。
- ・ 何か役に立ちたいと思い、子供たちに言葉がけなどしてきたが、それがよかったのかどうかわからなかったので、講演を視聴することで整理できたため。
- ・ 災害時のこども支援について一般事例が紹介された後に、能登半島地震についてのレポートがあったが、1月の初動以降、現在についての状況をもっと知りたいと思った。
- ・ 子どもの意見を聞くことが大切だと学ぶことができた。
- ・ グループワークの発表内容が聞こえなかったので、参加者の方々の意見がわかりにくかったため。
- ・ 子ども支援について新たな気づきを持つことができたため。
- ・ 災害から4カ月くらいたった後、穴水町に行ったときに、子どもと接する機会があったが、どう接すればいいかわからなかったため。
- ・ 内容自体は勉強になったが、やはりオンデマンドだと集中がしづらかったから。

3. 被災地の現状を知るため又は復興のために役立つものでしたか。



アンケートからの質問・ご意見

- ・できればもう少し質疑応答の時間があってもよかったのかなと思いました。時間切れになったので仕方がなかったかと思いますが。
- ・さまざまな視点からの質問で気づきがあり、応答で視野がひろがったため。
- ・グループワークが挟まれており、参加者が自分ごととしてディスカッションされている様子が伝わった。
- ・ボランティアは嫌なことがあっても我慢してしまいそうだという意見にとても納得した。
- ・子供以外の年齢層のメンタルヘルス。大人でもあまりに辛い出来事に耐えられるほど強くないし、大人だからこそ不安もあると思うから。
- ・災害時の障害のある方への支援
- ・災害時の外国人支援及び、その事前準訓練の実践
- ・フロアの方々の声が聞き取りにくかったことが残念でしたが、わかりやすい講演でした。自分たちがもっと声をあげ、1歩踏み出すことで世の中が変わると希望を持つことができました。ありがとうございました。
- ・スライドの内容量に比べて進行が早かった。とても情報量が多く、たくさんのことを学びました。子供の意見が掲載されているスライドが沢山あって良かった。